



高二小★コミュニティ・スクールだより

令和8年度 第1号
板橋区立高島第二小学校
校長 榎田 佳江
記録 iCS委員 笠原拓巳
令和8年4月30日

第1回 板橋区コミュニティ・スクール (iCS) 委員会 ご報告

令和8年度 第1回コミュニティ・スクール委員会を開催しましたので、以下のとおりご報告いたします。

開催日時：令和8年4月23日 (木)

15:00~16:30

場所：高島第二小学校 会議室

次第： 司会 山田 けい子

- (1) 校長あいさつ
- (2) iCS委員長あいさつ [ご欠席の連絡あり]
- (3) 出席者自己紹介(各委員、教職員[主幹教諭、中学年担当教諭]) ※今年度より教職員が順番に参加。
- (4) 令和8年度 学校経営方針、主な行事について (校長より)
- (5) 熟議 テーマ①：「高島第二小学校の現状分析」
昨年度同様SWOT分析を行い、高二小の強み、弱み、機会、脅威を洗い出し、その結果を比較しました。
テーマ②：「放課後の遊び場について」
- (6) 委員の皆様より

令和8年度 iCS委員の皆様です！

今年度も本校児童及び本校の教育活動のために、お力をお貸しいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。(◎委員長)

- ◎竹内 愛 様 (iCS委員長)
- 倉田直也 様 (たかにPTA会長)
- 山田けい子様 (地域コーディネーター)
- 小田こずえ様 (地域コーディネーター)
- 横江 歩 様 (地域コーディネーター)
- 一ノ関博子様 (地域コーディネーター)
- 合渡太一 様 (地域)
- 小泉良太 様 (高島第二中学校長)
- 井上朋子 様 (高島幼稚園長)
- 内田さやか様 (高島平つばみ保育園長)
- 工藤佳朋 様 (高島平地域センター所長)
- 笠原拓巳 様 (まなぼーと成増
防災教育コーディネーター)

よろしくお願いします



熟議①：「高島第二小学校の現状分析」

昨年度の内部と外部からの分析をして、強み・弱みを熟議した結果と、この1年間での取組を再度分析し、1年間で改善したことや今後も取り組んでいくことを話し合いました。

Strength (内部環境の強み) + プラス要因

- ・学校からの行事予定は昨年の課題ではあったが早くなった。
- ・職員が外国籍児童に正対し、向き合いながら教育活動を行っている。
- ・新しいことへチャレンジする活動意欲がある→保護者の関心も高い。
- ・高島平という地域性も相まって防災を学習テーマに扱うことが強み。

Opportunity (外部環境の支援的要因) +

- ・防災を通じた地域との連携が取れてきている。(児童が作成した防災のポスターなどをスーパーや駅に掲示してもらった。)
- ・保幼小中との連携をイベント毎に取り入れている。

昨年からの改善点は赤太字になっています。

熟議②：「放課後の遊び場について」

喫緊の課題として挙げた、「放課後の遊び場」については、公園などの使用についてトラブルが起こることがあったため、児童や地域の皆様が快適に過ごせる方法を話し合った。

熟議の様子

《グループ1》

- ・児童がどんなことをしたいのか、などをまずは聞いてみる。→そこから対応できることを考えていく。
- ・あいキッズに高学年向けコンテンツも増やしてもらおう。
- ・放課後の校庭開放を検討する。
- ・防災に絡めてテントをたてて秘密基地をつくる。→子どもたちがわくわくする遊びができないか、などを検討する。



《グループ2》

- ・家庭や地域、放課後に起こったトラブルなど、学校の管理下でない案件の解決要望が学校に対して多くなっている。改めて放課後のルールを周知、確認する必要がある。
- ・期間限定の校庭開放を実施する。
- ・保護者の方に協力していただき、見守りの実施や地域やURとの連携も行っていく必要がある。

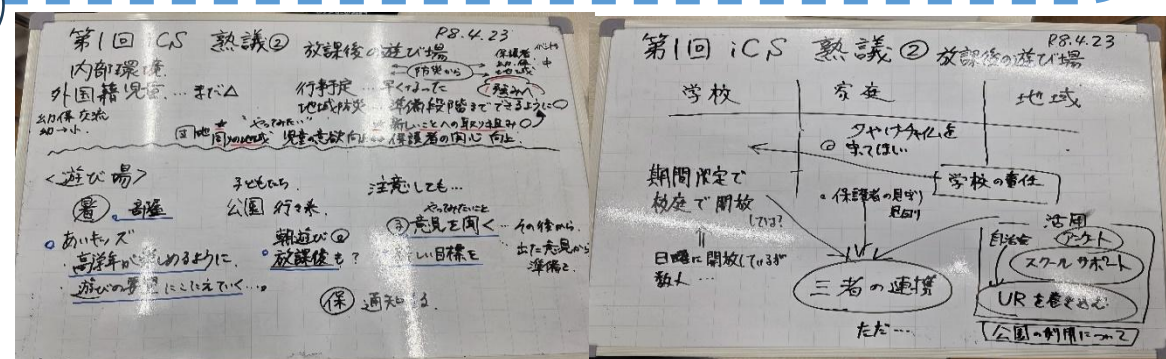


Weakness (内部環境の弱み) - マイナス要因

- ・外国籍児童の方と情報伝達については継続的に課題がある。
- ・Chromebookの使用が定着してきたが、ノートを書くペースが遅くなっている。→今年度は、朝の短い時間にRSノートを導入し、書くことに慣れさせていく。

Treat (外部環境の阻害的要因) -

- ・保護者との横のつながりはまだ少ないため、今年度は改善するための企画を考えていきたい。
- ・団地とのつながりが希薄になっている。



委員の皆様より

- ・放課後の遊び方についてや、放課後の学校の在り方についても再度通知をした方がよいと思う。(原則として保護者に対応してもらうことなど)
- ・外で遊ばせたいという願いもあるため、ルールの中で遊ぶように話していく必要がある。
- ・保護者や地域、URなども巻き込めたらより安全に過ごすことができるようになると思った。
- ・子どもたちがどうしたいかを吸い上げていきたいと思った。
- ・クレームばかりではなく、朝に近所の方と遊んで登校している和やかなひと時もあるので、よい部分も伝えていきたい。
- ・地域の中で問題解決に向けてつなげていけることもあると思うので、今後も継続して話し合っていきたいと思う。
- ・保護者にも力を発揮してもらうために動いていきたい。意見箱の設置も検討してほしい。

次回(第2回)は高島第二中学校と合同で開催します。
令和8年6月24日(水)
13:30~16:00 高二中にて
問い合わせ:高二小 3936-1561